

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床判断演習Ⅲ	学 期	後 期	青木 美香 (看護教員) 池内 寛記 (診療看護師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目 的 (ねらい)	臨床判断演習Ⅰ・Ⅱの学びをもとに、更に複雑な事例を通して思考力や想像力を養い、患者のニーズや健康問題を解釈し、対象の状態や状況に応じて判断して看護を実践する能力を身につける。また、根拠をもって実践した看護を振り返る能力を身につける。SBARを通して患者の状況を解釈したことをもとに、自身の考えを他者に伝える能力を身につける。			
目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例から看護に必要な状況に気づき、必要な情報を得ることができる</li> <li>2. 得られた情報を理解し、患者のニーズや健康問題を解釈できる</li> <li>3. 対象の状態や状況に応じて必要な看護を判断し、実践できる</li> <li>4. 根拠をもとに看護実践の結果を振り返ることができる</li> <li>5. SBARの概要を理解する</li> <li>6. SBARを通して患者の状況を解釈したことをもとに、自身の考えを他者に伝えることができる</li> </ol>			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	「直感的な気づきを浅い思考にしない！」GW 看護技術タスクトレーニング	臨床判断を高める4つの工夫	講義・GW
	2		酸素療法・膀胱留置カテーテル	技術
	3	「解釈の精度を高め、反応に繋げる」演習 "	腎不全の患者を知る・看護する SBAR報告とは	演習
	4			
	5	オリエンテーション 個人ワーク	模擬電子カルテから情報収集	
	6			
	7	池内先生「フィジカルアセスメントトレーニング」		演習
	8			
	9	「対応する力を高める」演習 まとめ		演習
10				
教科書	医学書院「呼吸器」「循環器」「腎・泌尿器」、学研「対症看護」			
参考文献				
評価方法	授業および演習参加状況・態度 20%、提出物の内容 80%を基準に総合的に評価する。			
関連科目	臨床判断演習Ⅰ・Ⅱ、病態症候論演習、専門基礎分野、看護学全般			
自己学習に関する指針	専門基礎分野、専門分野でこれまでに学んだ知識を踏まえて授業を展開する。			
その他の 通知事項				